



永 建 第 1391 号
平成 20 年 10 月 17 日

国土交通省道路局長 様

永平寺町長 松 本 文 雄



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

秋冷の候、貴殿におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、道路行政につきまして、格別なるご尽力を賜り厚くお礼申し上げます。

つきましては、今後の道路行政についての意見・提案の提出につきまして別紙のとおり送付いたしますので、ご査収願います。

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

◎ 道路利用者のニーズに合わせた道路整備の必要性

- ・ 市街地等における道路整備については、一般歩行者や通学路、自転車に配慮した道路整備
- ・ パークアンドライド等を利用し、公共交通体系との連携に配慮した道路整備
- ・ バリアフリー化された広幅員の道路整備
- ・ 歴史的建造物や特色ある観光地等の周辺景観に配慮した道路整備
- ・ 道路構造の機能面や計画交通量の見直しによる、道路類型の弾力的な変更
- ・ 地域の実情などに対応した道路整備を推進するため、様々な関係者や地方公共団体等の参画において道路整備計画の策定

◎ 道路施設の維持管理

- ・ 道路台帳をデータベース化し、併せて維持管理対策立案システム構築に対する補助制度
- ・ 道路維持管理における行政と地域の連携と協働の推進（道路清掃・道路緑化・道路異常箇所の情報提供等）

②-1 地域の現状と抱える課題

福井県永平寺町

○現状

本町は平成18年2月に2町1村が合併し、新「永平寺町」が誕生いたしました。

町の東西には国道416号とそのバイパス機能を有する一般県道栃神谷鳴鹿森田線の整備が進められており、さらには長野県松本市に繋がる高速道路のネットワーク化を進める中部縦貫自動車道の整備が徐々に姿を見せております。

町の南北には福井県を代表する観光地大本山永平寺と石川県と繋ぐ国道364号が走り、両国道が本町の中心で交差しており、交通の要衝となっております。

本町の人口推移ではわずかながらの減少傾向にありますが近年、「生活の利便性」に加えて「自然とのふれあい」、「所得収入」から「余暇・自由時間」を求めるなど、「物の豊かさ」に加えて「心の豊かさ」をも重視する方向へと、人々の社会に向けるまなざしに変化が現れています。

また、労働時間の短縮による時間的なゆとりは、スポーツ・文化・レジャーなどの余暇活動や地域のコミュニティ活動など、生活の質的充実を求める活動にも重点を置く傾向が強まってきています。

このような価値観や生活様式の変化に対応するため、生涯学習やボランティア活動に対する環境整備をはじめ、自然とのふれあいの機会の創出など、これまでの施設整備や均一的な行政サービスから町民の多様なニーズに合った行政サービスの提供が求められています。

○課題

このような現状の中、国道416号は朝夕の混雑が激しく、バイパス機能を有する一般県道栃神谷鳴鹿森田線の整備はその渋滞解消と合併に伴う旧町村の連携強化のために早期に整備が必要です。

また、中部縦貫自動車道の整備は高速広域ネットワークの形成により通勤圏域の拡大や都市と農山村地域との連帯の強化と物資の交流、人の交流など活発化を促す交流機能も兼ね、生活の利便性や生活の質的充実を高めるためにも早期に全線開通が望まれます。

観光振興や物流のための幹線道路はもとより、高齢者が急速に増加する中で、高齢者と子供達の事故割合が高く、安心安全のための道路整備を確実に進めるためにも交付金拡充が望まれます。

しかしながら、道路建設事業の予算削減から今後は道路維持管理事業にシフトすることが予想され、高度成長期時代に整備された道路の経年損傷も激しくなり、年々維持補修事業予算の占有比率が高まっております。

道路除草管理を含め道路維持補修事業に対する補助的制度はなく、道路・橋梁の老朽化に対する新たな補助制度の創設が望まれます。

②-2 地域の目指すべき将来像

福井県永平寺町

本町にはまちづくりの資源となる数多くの財産があります。歴史的財産としては、開祖道元禅師の法を厳として今に伝える曹洞宗大本山永平寺や吉峰寺、手繰ヶ城山古墳をはじめ、いにしへの壮大なスケールを感じさせる国指定の史跡・松岡古墳群、大正初期から繊維王国福井の中心で栄えた繊維産業などが挙げられます。

また、アラレガコが生息する中流域は、国の天然記念物に指定されるなど、鮎や憧れの魚サクラマス釣り場として全国各地から大勢の太公望が訪れる九頭竜川や建設が進む中部縦貫自動車道、一般県道栃神谷鳴鹿森田線のほか2本の国道やえちぜん鉄道が走る交通の要衝となっていることなどの地理的・景観的財産が挙げられます。

さらには、福井大学医学部・福井県立大学や理美容及び調理師製菓専門学校をはじめとする文教施設などが挙げられます。

このように恵まれた地域性を舞台にした住民の暮らしと、これらを求めて町を訪れる人々との交流が、賑わいや活気を生み、町の歴史や文化を育んできました。

先人から受け継がれてきた地域特有の歴史文化や資源を活かして、町民一人ひとりが安心でき、生きがいを持って暮らすことができるまちづくりを、町民・行政が一体となって推進していくことをめざします。そのためには、子どもから高齢者まで、まちづくりの主役である「ひと」(町民)が、一人の人間として尊重され、この豊かな自然と恵まれた環境のなか、お互いに支えあい快適に安全で安心して暮らすことのできる地域社会を構築していくことが必要です。

少子高齢化が進む中で、平成26年には65歳以上の高齢者人口は割合が25%を越えると予想されており、人口構造の変化は様々な分野においてサービス需要の増加と多様化に伴い、生活の形態にも大きな変化をもたらしております。

特に永平寺町では調和のとれた魅力と活力のある「住みたくなる町」の構築に向け高度情報化の対応や安全・安心への対応等の課題を掲げ、今後は、幹線道路の整備とそれに接続するアクセス道路の整備の重点化と、合併による各地区の連携を深めるために地域内の拠点を結ぶ道路整備や自転車・歩行者の交通安全性高め、人口構造の変化に対応した高齢者や障害のある人の利便性や快適性の向上に向け、道路のバリアフリー化が望まれ、本町の中心をえちぜん鉄道が東西に縦断していることから、公共交通体系と幹線道路の連携をさらに高め、観光地大本山永平寺の玄関口として永平寺口駅周辺整備の推進も重要であります。

今後の道路行政についての意見・提案

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

様式 ④

福井県永平寺町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
高速道路網の形成	中部縦貫自動車道 （別紙 ① ② ③）	全線開通により関東への最短距離になることや東海北陸自動車道を利用した観光集客と物流の向上が期待されるとともに、最近多発しております地震等自然災害による道路断裂を考えますと災害緊急輸送道路としても重要な位置付けであると確信しております。 このようなことから、特に大野油坂道路の整備も重要であり、早期に整備区間に格上げされるよう要望するものであります。	
道路交通基盤の強化	一般県道柘神谷鳴鹿森田線 （別紙 ④ ⑤）	県都福井市と奥越を結ぶ重要幹線道路であり、高齢化社会の進展と相まって安全安心な生活環境の確立や福井市内への就労はもとより日常の生活圏における重要性からも早期の全線開通が望まれます。	
観光産業等振興	国道３６４号谷口バイパス	永平寺町諏訪間地係及び東古市地係を通過する国道３６４号は道路幅員も狭隘であり大本山永平寺へ参拝するバスとのすれ違いも困難な箇所も多く、現在は一部１．２Kmが供用されておりますが、交通渋滞及び交通安全対策の向上はもとより、中部縦貫自動車道建設に関連し、永平寺東インター（仮称）からのアクセス面においても重要な道路として促進したい考えであります。	

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

福井県永平寺町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
道路交通基盤の強化	県道稲津松岡線バイパス （別紙 ⑥）	県道稲津松岡線バイパス整備事業ではありますが、現道の道路幅員は狭隘であり、普通車同士のすれ違いさえも困難であり、通学路の指定もされていることから通学時における危険な状況や、近隣には松岡総合グラウンドyou meパークがあることから各種大会が開催される際には、交通渋滞も発生している状況であります。 また、福井市内南側への交通利便性を高める道路としても重要であると考えております。	
道路交通基盤の強化 及び定住促進	町道吉野74号線 （通称名：町道納戸坂線）	永平寺町松岡湯谷地係から交付金事業で整備してまいりました町道74号線は、来年度永平寺町管内860m全線開通予定であり、福井市の県道吉野福井線（通称さくら通り）と接続させ、県道吉野福井線のバイパスとの位置付けと考えております。 今後は福井県と福井市との協議を進め通勤圏域の拡大や市街地と農山村地域との連帯強化を高めてまいりたいと思います。	

①



③



②



中部縦貫自動車道

- ① 平成19年3月一部供用開始をしている諏訪間高架橋
- ② 平成20年度供用開始を目指し工事が進む上志比IC
(仮称)付近 3工区大月地係
- ③ 平成20年度供用開始を目指し工事が進む石上PA
(仮称)付近 3工区石上地係

④



国道416号・一般県道栃神谷鳴鹿森田線

④ 国道416号の朝の混雑状況

⑤ 国道416号のバイパス機能を兼ね備える、一般県道
栃神谷鳴鹿森田線の早期全線開通が望めます。

県道稲津松岡線

⑥ 県道稲津松岡線は通学指定道路でもあり、歩行者の安全
確保のためにも早期バイパスの整備完成が望めます。

⑤



⑥

